

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 株式会社新潟放送 上場取引所 大
 コード番号 9408 URL http://www.ohbsn.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹石 松次
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理局长 (氏名) 赤塚 幸 (TEL) 025-267-4111
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,194	3.8	△54	—	△32	—	△33	—
24年3月期第1四半期	4,040	△14.6	△256	—	△236	—	△174	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △194百万円(—%) 24年3月期第1四半期 △252百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△5 62	—
24年3月期第1四半期	△29 13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	19,329	12,619	58.9
24年3月期	20,299	12,687	56.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 11,391百万円 24年3月期 11,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5 00	—	5 00	10 00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	5 00	—	5 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 24年3月期及び25年3月期(予想)の期末配当金及び第2四半期末配当金にはそれぞれ記念配当1円25銭が含まれております。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,084	6.0	△154	—	△133	—	△53	—	△8 83
通期	20,946	4.4	627	92.3	651	81.8	315	687.5	52 50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社 ITスクエア、除外 1社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	6,000,000株	24年3月期	6,000,000株
25年3月期1Q	640株	24年3月期	640株
25年3月期1Q	5,999,360株	24年3月期1Q	5,999,409株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	3
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
（3）継続企業の前提に関する注記	9
（4）セグメント情報等	9
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
（6）重要な後発事象	10
5. （参考）四半期財務諸表(個別)	10
（1）個別経営成績	10
（2）個別財政状態	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などを背景として緩やかな回復傾向は見られたものの、欧州政府債務危機や歴史的円高の影響などにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

放送業界におきましては、震災の影響を受けた前年に比べ、広告市況はテレビスポット広告を中心に一部で持ち直しの動きが見られました。

また、情報サービス業界におきましては、企業による情報システムへの投資計画の縮小など、依然としてIT投資抑制傾向による影響が続きました。

このような状況のなかで、それぞれ異なる分野で事業活動を展開する当社グループは、各事業部門において積極的な営業活動とサービスの提供に努めた結果、当第1四半期における連結売上高は41億9千4百万円（前期比103.8%）となり、前年同期に比べ1億5千3百万円の増収となりました。一方で、営業費用は前年同期に比べ4千7百万円減少しましたが、利益面におきましては、営業損益は5千4百万円の損失計上（前期は2億5千6百万円の損失計上）、経常損益は3千2百万円の損失計上（前期は2億3千6百万円の損失計上）となり、四半期純損益では3千3百万円の損失計上（前期は1億7千4百万円の損失計上）となりました。

事業の部門別の概況は次のとおりであります。

放送事業におきましては、ラジオのスポット広告が県内、県外ともに苦戦を強いられ前年を下回りましたが、テレビのスポット広告が好調に推移したことなどから、放送収入全体としては前年実績を上回りました。その他の収入では、前年に引き続き「プロ野球 横浜―巨人戦」の新潟開催試合を主催するなど各種事業を展開しましたが、前年にあった大型公演事業を補うには至らず、前年を下回りました。

この結果、当第1四半期の売上高は16億2千7百万円（前期比102.9%）となり、営業損益では9千5百万円の利益計上（前期は6千3百万円の損失計上）となりました。

情報処理サービス事業におきましては、県外を中心にソフト開発収入が復調したほか、ハード、ソフトの物品販売においても大型案件を受注するなど売上は前年実績を上回りました。一方、費用面で売上原価が増加したことなどから、利益面ではマイナスとなったものの前期より改善しました。

この結果、当第1四半期の売上高は21億6千6百万円（前期比105.5%）となり、営業損益では1億4千5百万円の損失計上（前期は1億7千8百万円の損失計上）となりました。

ホテル及び飲食事業におきましては、新潟市内におけるホテル間の競争が依然として厳しいなか、新商品の開発や販売力の強化により宿泊部門の売上が前年を上回りました。また、宴会部門においても自社企画イベントなどが奏功し増収となりましたが、レストラン部門は前年実績に届きませんでした。

この結果、当第1四半期の売上高は2億8千8百万円（前期比110.2%）となり、営業損益では1千2百万円の損失計上（前期は2千6百万円の損失計上）となりました。

建物サービスその他事業におきましては、施設管理部門において工事の受注が落ち込んだことにより減収となったほか、メディア収入も前期実績には届きませんでした。

この結果、当第1四半期の売上高は2億4千4百万円（前期比93.2%）となり、営業利益は7百万円の計上（前期比64.3%）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は193億2千9百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億6千9百万円減少いたしました。

資産の部では、流動資産が79億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億1百万円減少しております。これは主に現金及び預金が10億7千9百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が22億6百万円減少したことなどによります。固定資産では、113億8千6百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億6千7百万円の減少となりました。これは主に投資有価証券が2億3千4百万円減少したことなどによるものであります。

負債の部では、流動負債が40億9千万円となり、前連結会計年度末に比べて7億9千7百万円減少しております。これは主に賞与引当金が1億9千8百万円増加いたしましたが、未払金で9億4千1百万円、短期借入金で1億5千5百万円減少したことによるものであります。固定負債は26億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億3百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が5千1百万円、リース債務が3千1百万円減少したことによります。

純資産の部では、その他有価証券評価差額金の減少1億8百万円、利益剰余金の増加1千8百万円、少数株主持分の増加2千1百万円により126億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べて6千8百万円減少いたしました。以上の結果、自己資本比率は58.9%となり、前連結会計年度末に比べて2.3ポイント増加となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期以降の見通しにつきましては、第1四半期において好調に推移したテレビスポット広告の動向が不透明であることなどから、先行きに関しては楽観視できない状況と思われれます。

このような見通しのなかで、当社グループは、各事業部門において今まで以上に積極的、かつ、きめ細かな営業活動とサービスの提供に努め、収益の確保に傾注いたします。また、引き続き各事業部門において、さらなるコストの削減を図ります。

以上の見通し及び方針に基づき、業績予想につきましては、平成24年5月14日に公表いたしました平成25年3月期の第2四半期累計期間並びに平成25年3月期の通期業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、重要性が増した株式会社ITスクエアを連結の範囲に含めておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,700,789	3,780,522
受取手形及び売掛金	4,814,851	2,608,507
有価証券	246,125	246,172
商品	90,803	174,348
原材料	11,851	12,796
仕掛品	221,140	480,286
繰延税金資産	180,637	180,109
その他の流動資産	390,101	467,362
貸倒引当金	△11,307	△6,878
流動資産合計	8,644,993	7,943,227
固定資産		
有形固定資産合計	7,583,066	7,491,427
建物及び構築物（純額）	3,364,836	3,314,140
土地	2,324,664	2,322,695
リース資産（純額）	886,023	863,883
その他（純額）	1,007,540	990,707
無形固定資産	435,912	396,428
投資その他の資産合計	3,635,033	3,498,585
投資有価証券	1,837,205	1,602,592
繰延税金資産	977,124	1,042,714
その他の投資及びその他の資産	863,889	895,962
貸倒引当金	△43,185	△42,684
固定資産合計	11,654,012	11,386,441
資産合計	20,299,006	19,329,668
負債の部		
流動負債		
未払金	2,704,668	1,763,285
短期借入金	1,173,640	1,018,140
賞与引当金	395,352	593,368
その他の流動負債	615,171	716,165
流動負債合計	4,888,831	4,090,958
固定負債		
長期借入金	1,204,230	1,152,570
リース債務	652,628	620,924
退職給付引当金	344,004	334,404
役員退職慰労引当金	259,922	244,381
その他の固定負債	261,638	266,926
固定負債合計	2,722,424	2,619,207
負債合計	7,611,256	6,710,165

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	11,284,904	11,302,994
自己株式	△444	△444
株主資本合計	11,590,210	11,608,300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△108,838	△217,145
その他の包括利益累計額合計	△108,838	△217,145
少数株主持分	1,206,378	1,228,347
純資産合計	12,687,749	12,619,502
負債・純資産合計	20,299,006	19,329,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,040,785	4,194,713
売上原価	3,040,983	2,978,273
売上総利益	999,801	1,216,440
販売費及び一般管理費	1,256,125	1,271,036
営業損失(△)	△256,323	△54,595
営業外収益		
受取利息	254	416
受取配当金	22,656	25,247
受取賃貸料	1,581	1,296
その他	5,718	5,700
営業外収益合計	30,211	32,660
営業外費用		
支払利息	9,275	9,000
その他	845	2,050
営業外費用合計	10,120	11,051
経常損失(△)	△236,233	△32,986
特別利益		
固定資産売却益	—	31,890
補助金収入	14,427	—
その他	1,062	—
特別利益合計	15,489	31,890
特別損失		
固定資産除却損	776	1,378
その他	5,643	430
特別損失合計	6,419	1,808
税金等調整前四半期純損失(△)	△227,163	△2,905
法人税等	8,801	82,681
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△235,964	△85,586
少数株主損失(△)	△61,216	△51,870
四半期純損失(△)	△174,748	△33,716

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△235,964	△85,586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,561	△108,529
その他の包括利益合計	△16,561	△108,529
四半期包括利益	△252,526	△194,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△191,174	△142,022
少数株主に係る四半期包括利益	△61,351	△52,093

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注 2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	ホテル及び 飲食事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,552,062	2,037,103	255,838	195,780	4,040,785	—	4,040,785
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	30,082	17,566	5,981	66,570	120,202	△120,202	—
計	1,582,145	2,054,670	261,819	262,351	4,160,987	△120,202	4,040,785
セグメント利益又は損失 (△)	△ 63,582	△ 178,607	△ 26,137	10,965	△ 257,361	1,038	△ 256,323

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注 2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	ホテル及び 飲食事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,597,669	2,148,673	280,240	168,130	4,194,713	—	4,194,713
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	30,226	18,193	8,395	76,408	133,223	△133,223	—
計	1,627,895	2,166,867	288,635	244,538	4,327,937	△133,223	4,194,713
セグメント利益又は損失 (△)	95,081	△145,686	△12,205	7,047	△55,761	1,166	△54,595

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. (参考)

平成25年3月期第1四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 個別経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,627	2.9	95	—	134	—	92	—
24年3月期第1四半期	1,582	△17.2	△64	—	△27	—	△16	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	15 34	—
24年3月期第1四半期	△2 76	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
25年3月期第1四半期	11,262	9,265
24年3月期	11,210	9,310